

# 2025年度 課題探究型入試 課題



愛知東邦大学

AICHI TOHO UNIVERSITY

---

経営学部／ビジネス学科※・コミュニケーション・デザイン学科※

人間健康学部／人間健康学科

教育学部／子ども発達学科

---

※2025年学科設置構想中 問い合わせ先：入試広報課 052-782-1600(直通)



## 2025 年度 愛知東邦大学 課題探究型入試 課題

次のテーマの中から 1 つを選択し、720 字以上 800 字以内でレポートを作成してください。但し、ここで示されたものだけで作成するのではなく、あなた自身でテーマに関する文献・資料（図書、雑誌、新聞、Web 資料など）を収集して調べ、あなたの考えを主張してください。また、課題レポート作成にあたり、使用した文献・資料等は、必ず「課題レポート表紙」の所定の欄に記載してください。

なお、テーマによって個別の問いが設定しているケースがあります。本文をしっかりと確認して課題に取り組んでください。

### ■ 経営学部 ビジネス学科/コミュニケーション・デザイン学科

- テーマ 1：子どもの SNS 利用を考える ..... 1  
テーマ 2：これからの日本企業の海外戦略 ..... 3

### ■ 人間健康学部 人間健康学科

- テーマ 1：日々の練習方法の選択からパフォーマンス向上について考える ... 4  
テーマ 2：学校場面における合理的配慮について考える ..... 6

### ■ 教育学部 子ども発達学科

- テーマ 1：「不適切な保育」が起こる背景と未然防止策について考える ..... 8  
テーマ 2：小学校における「主体的・協働的な学び」について考える ..... 9

志望理由書・課題レポートの提出用紙は以下のサイトからダウンロード・印刷ができます。

<https://www.aichi-toho.ac.jp/admission/essentials>



※A4サイズでの印刷をお願いします



経営学部



## 経営学部

### テーマ1：子どもの SNS 利用を考える

SNS とは、インターネットというハイテク技術を一般大衆が気軽に利用できるように生み出されたサービスをいいます。近年、急速に利用者が増加している SNS ですが、不特定多数との交流を目的とした SNS では様々な問題点が指摘されています。

このような状況において、SNS の悪影響から子どもを守るためには、どのような対策を講じたらよいのでしょうか。以下にあげた新聞社の社説や自分で調べた資料をもとに、SNS の悪影響から子どもを守るための対策について、あなたの考えをまとめてください。

#### SNS の悪影響から子どもを守るために

SNS などのインターネットを利用したサービスが子どもにどのような影響を及ぼしているかを解明し、運営企業に改善を求める動きが欧米で相次いでいる。日本でも若年層による SNS の利用が増えており、心身への影響を把握して対策を急ぐ必要がある。

欧州連合（EU）の執行機関である欧州委員会は 11 月上旬、動画アプリの TikTok（ティックトック）や動画共有サービス、ユーチューブなどの運営会社に対する調査を始めた。子どもの心身を守るために講じている措置について報告を求めた。

米国でも 10 月、画像共有アプリのインスタグラムや SNS のフェイスブックを提供する米メタが児童オンラインプライバシー保護法などに違反したとして、42 州・地域の司法長官が提訴している。

SNS はコミュニケーションの新たな基盤となる一方で、プライバシー侵害やいじめといった弊害があると指摘を受けてきた。海外には心身の発達状況を勘案し、一定の年齢以下のネット利用者を法律で保護する地域が多い。適切な運用により子どもを守ろうとする動きは理解できる。

人工知能（AI）を活用し、利用者の興味を引くコンテンツを次々と表示する機能が高度化していることにも注意が要る。子どもが依存を強め、自分を周囲と過度に比較することで拒食症や自傷行為、自殺につながったとされる事例が欧米では報告されている。

NTT ドコモのモバイル社会研究所の調査によると、日本でも小学校高学年の SNS の利用率は 5 割を超え、中学生になると毎日 3 時間以上使うとの回答が 12% に達した。利用増で心身の健康を害する子どもが増えていないかなど実態の把握を急ぐべきだ。

調査には運営企業の協力が欠かせない。各社は子どもの利用者数や利用時間の推移といった情報を開示し、保護体制について積極的に説明する必要がある。現時点では国や言語ごとの投稿監視体制などに関する説明は乏しく、対応は不十分と言わざるをえない。

多くの運営会社は規約により利用可能年齢の下限を設けているが、ルールの適用を徹底してい

ない事例も目立つ。日本ではこれまで若年層に焦点を当てた法規制の動きは乏しかった。運営会社が自主的に有効な対策を講じないのであれば、強制力を伴う措置も排除すべきではない。

「日本経済新聞 電子版」2023年11月24日

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQODK141PP0U3A111C2000000/>

## 経営学部

### テーマ2：これからの日本企業の海外戦略

日立、パナソニック、東芝、シャープなど、かつて日本の家電産業は自動車産業と共に輸出の柱として君臨し、世界市場でも大いに存在感を示していました。しかし現在、以前は大きな黒字だった経常収支は赤字となり、その中で日本の家電メーカーも以下の抜粋記事にもあるように、今年のIFA（欧州最大の家電見本市）にもほとんど姿がないなど、海外市場における弱体化には著しいものがあります。

この状況を招いた一つの要因として「日本企業の内向き志向」を挙げる声もありますが、その声の是非も含めて、家電を中心とするこれからの日本企業の海外戦略はどう在るべきでしょうか？「日本企業の内向き志向」について調べた上で、今後、日本企業は再び海外市場に打って出るべきか、または国内市場中心でも構わないか、あなたの考えをまとめてください。

欧州の家電市場における日本メーカーの存在感はなぜここまで失われてしまったのか。まず考えられるのは「ポストコロナ」に向けた日本企業の経営者の気構えの問題だ。日本の国内市場はコロナ禍からの立ち直りが海外市場に比べ総じて遅く、そうした国内の弱気なムードが各メーカーの海外戦略にも影響を与えたといえよう。

「失われた30年」の言葉に象徴される日本企業の内向き志向も見逃せない。日本の経営者も昔は中国や韓国のように海外志向が強かったが、バブル崩壊や経営者の世代交代などを経て国内至上主義がはびこり、海外展開にも二の足を踏むようになった。ポストコロナに向けた海外メーカーの俊敏な動きを察知できなかったのも、そうした内向き志向が災いしている。

家電産業は自動車と並ぶ日本の輸出産業の二本柱だったが、今回のIFAを見る限り、その影はなくなってしまった。もちろん海外の見本市に出展しないからといって「日本の家電産業が終わった」というのは乱暴な議論だが、世界中から多くのバイヤーやジャーナリストが集まる場に軒を並べなければ、いくら製品がよくても市場では話題に上らなくなる。

「Wedge」2023年11月号

関口和一『日本メーカーの凋落は深刻 激変する家電産業の地政学』



人間健康学部



## 人間健康学部

### テーマ1：日々の練習方法の選択からパフォーマンス向上について考える

次の文章は、パフォーマンスを向上させるための練習方法の事例について書かれているものです。この記事を参考にしながら、パフォーマンス向上に必要な他の練習方法について調べてください。また、高校でのスポーツ活動でパフォーマンスを向上させていたか具体的な事例をあげ自身の体験を書き出し、その経験や調べた練習方法を活用し、大学生活でどのように活かしていくのか、あなたの考えをまとめてください。

パフォーマンス向上の秘訣は練習にあります。もちろん本番でどんどん気づいて、どんどん学んで、どんどんできるようになることもあります。そういう意味では本番こそ最高の練習とも言えますが、より高いレベルを求めている人で「練習がなおざりな人」に会ったことがあります。同じ練習時間、同じ練習量でも人によって大きく差がついてしまいます。それを「センス」という言葉に押し込めることがあります。そこはパフォーマンス医学。あらためて練習について考察してみたいと思います。（中略）

#### 得意をさらに磨く練習と不得意に向き合う練習

これは真逆です。得意で不得意をカバーできる場合もあれば、不得意を何とかしなければどうしようもない場合もあります。不得意がある程度形になれば、ますます得意が生きることもありますし、得意に依存してしまっただけで全体的な実力が落ち込む場合もあります。特に不得意に向き合う練習は気分的にもあまり楽しいものではなく、できない自分に直面せざるを得ません。不得意ですから当然、簡単に克服できるものではありません。このあたりの取舍選択やジャッジは本当に難しいです。

#### 時間的に余裕がある時の練習と差し迫った時期の練習

これもかなり違います。時間が十分にあれば、自分の技術をゼロから再構築したり、スタイルをリニューアルしたり、新しい技術をマスターしたり、などなど実験しながら進むことができます。しかし本番や試合まで時間がない場合、「とりあえず今ある材料でなんとか料理を成り立たせる」場合もあります。（中略）「今、行っている練習はいつ生きるか？（生かすつもりか？）」という視点は有効だと思います。「ずっとそれをやっていく」のと「3年で引退するつもり」では正解は異なりますし、「1日の中で十分に練習できる時間がある人」と、「時間の確保自体が簡単じゃない人」によっても解は違ってくるはず。です。

(中略)

### **自分のキャパシティを拡大する練習と、スタミナや技術をロスなく使う練習**

これらも真逆の方向性です。キャパを拡大するには、スタミナを使い切る、技術を全て出し切る、などオールアウトが必要です。ですが、キャパを上げる練習ばかりしていると、スタミナの使い方は下手になってしまいます。チャンスまで動きながら待つ、などの練習をしていく必要があります。

このように、練習にはいろいろあります。どの面を伸ばすのか？ ジェネラリストで行くか？ それともスペシャリストでいくか？ 強烈な個性を目指すか？ カメレオンのような七変化を目指すか？ やはり練習を考える上で大切なのは、「どうなりたいか」から現在を見直す作業でしょう。

「Diamond online」2024年3月5日

## 人間健康学部

### テーマ2：学校場面における合理的配慮について考える

次の文章は、発達障害の子どもが抱える感覚過敏の問題について説明したものです。このように、発達障害の子どもは生活場面で特有の「生きづらさ」を多く体験するため、学校場面では合理的配慮の対象となり得ます。

下記の資料の他に「学校場面における合理的配慮」に関する文献や記事を調べ、「合理的配慮」に関する基本的な概念・制度についてまとめ、それらに基づくあなたの考えをまとめてください。

#### 子どもの発達障害で多い“五感の感覚過敏”、理解したい「世界の感じ方の違い」

##### 味覚、聴覚、触覚…特定の刺激に強く反応し、ストレスを感じてしまう

発達障害の人の中でも、とくに ASD（自閉スペクトラム症）の人は、いわゆる定型発達の人とは五感の感覚が違うことがよくあります。

感覚過敏とって、視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚のどれか、もしくは複数がとても敏感で、普通の人なら気にならないような刺激にも強く反応し、大きなストレスを感じてしまう症状です。

味覚過敏の人は、辛味や苦味、酸味などが異常に強く感じられることがあります。その場合、食べられる食材に限られるため、毎日の献立を工夫したり、お子さんの場合は給食ではなくお弁当を持たせたりと、ご家族も苦労されることが少なくありません。

触覚過敏の場合は、普通の人ならなんとも思わないシャワーの水が痛く感じられるため、お風呂が苦手になりがち。お湯が顔や耳にかかるのを極端に嫌がるお子さんもいます。

また、聴覚過敏の場合は、特定の音を強く感じたり、音が怖くて電車に乗るのが苦手、あるいは怖くてまったく乗れないという場合があります。

このように、定型発達の人が感じているものより何倍も大きな刺激を受け止めながら暮らしている ASD の人たちは、文字通り、違う世界を感じながら生きていることがあるのです。  
(中略)

【周囲の人はどうすればいい?】無理に慣れさせようとするよりも、道具の力を借りてストレスを減らそう

感覚過敏の場合、無理に刺激に慣れさせようとする、恐怖心が高まり逆効果になってしまいます。「怖くない」「大丈夫」という言葉も、本人の耳には届きません。

子どもが聴覚過敏で電車に乗れないなら、環境騒音だけをカットするデジタル耳栓や、ヘッドホン型の防音具であるイヤーマフを購入し装着させましょう。適した道具が見つければ、けろっとした顔で地下鉄に乗れるかもしれません。もちろん、地下鉄に乗らないという選択もあります。

また、ふいに来る刺激にパニックになることがあるため、「電車が来たからゴーッと音がするよ」などと、あらかじめ知らせて心構えを持たせておくことも必要です。

「Diamond online」 2023年4月29日

教育学部



## 教育学部

### テーマ1：「不適切な保育」が起こる背景と未然防止策について考える

昨今、保育に関する報道に、子どもの口に無理やり食事を詰め込んだり、強い言葉で子どもを叱責したりするなどの不適切な保育に関するものが見られます。下記で紹介する保育者を対象としたアンケートでは8割強の保育者が「どの園でも起こりうる」と回答しました。不適切な保育が起こる背景は何か。未然に防止するためにはどうしたらいいか。この2点について、下記の資料のほかに「不適切な保育」に関する新聞記事や文献を調べ、それらを基にあなたの考えをまとめてください。

注：不適切な保育とは「虐待等と疑われる事案」とし、身体的虐待・性的虐待・ネグレクト・心理的虐待、この他こどもの心身に有害な影響を与える行為を指す（令和5年子ども家庭庁「保育所等における虐待等の防止及び発生時の対応等に関するガイドライン」）。

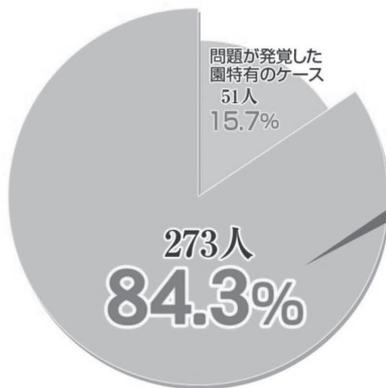
#### 資料1：「不適切な保育」に対する保育者の意識調査

# 使命感の一方 負担重く

静岡新聞社は保育現場の実情を探るため、県内の保育士や幼稚園教諭ら（元職を含む）を対象にしたアンケートを実施した。期間は3月中旬～4月上旬。牧之原市の認定こども園で起きた送迎バスの園児置き去り事件のほか、裾野市の私立保育園など県内外で明らかになった

不適切とされる保育の受け止めも尋ねた。設問は業務の実態や待遇面などを含めた計28項目。保育士や幼稚園教諭らにオンラインで直接入力してもらった方法で324人から有効回答を得た。集計結果を紹介する。（「届かぬ声」取材班）

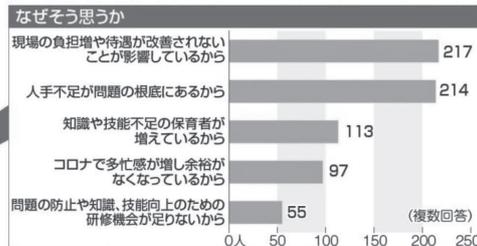
## 「不適切な保育」の問題をどう感じるか



裾野市など県内外で相次いだ「不適切な保育」に対しては、8割超が「どの園でも起こり得る問題」と受け止めた。負担感の増大や保育者の資質など多様な要因が挙がり、一連の問題を自身が勤務する園に置き換えて課題を直視する傾向がみられた。

「現場の負担増や待遇が改善されないことが影響している」とした人は217人に上り、「人手不足が問題の根底にある」が214人と同水準。自由意見も多く寄せられ、現場の窮状が浮き彫りになった。

どの園でも起こり得る



#### その他の意見

「不適切な保育」に関する設問では、選択肢以外にも多くの自由意見が書き込まれ、回答者の思いや各職場の実情がにじんだ。園児への暴行が発生する土壌について「優しい人ばかりではない」「モラルの欠如」などと厳しい意見が上がった。一方で、仕事量の増大で心に余裕がなくなっていることに起因するとの見方から、同情を寄せる声も目立つ。

否定的な意見は「保育者自身の意識の低さ」「性格も関係している。短気や言葉遣いが荒い人は無意識にやってしまう」など。認可保育所に勤務する40代の女性保育士は「強い個人」がいる集団の中では、正義と悪は関係なく皆が前ならえで（不適切保育を）する可能性がある」と指摘した。

個人の人間性ではなく、職場環境や業界全体の課題と受け止める意見は多数あった。県東部の女性保育士は「配置基準に余裕がなく常にギリギリの状態」と危機感をあらわにした。県中部の40代保育士は「現場の閉塞（へいそく）感。クラスごとの時間が多く他者の目が届きにくい」と問題視する。

認可保育所で働くベテラン職員からは「問題の防止や技能向上のための研修機会が足りない」との意見もあった。

## 教育学部

### テーマ2：小学校における「主体的・協働的な学び」について考える

次の文章は、小学校における「主体的・協働的な学び」について報道されたものです。この記事を参考にしながら、小学校における「主体的・協働的な学び」の事例について調べ、小学校教育においてどのような学習を大切にしていていくべきかについて、あなたの考えをまとめてください。

#### 公立小と融合する「名古屋型イエナプラン」 自立と尊重の学びに注目

オランダで発展した「イエナプラン」教育を日本の公立小学校に取り入れる動きが、全国で増加している。子ども一人一人が尊重され、主体的・協働的に学ぶ手法やコンセプトが、文部科学省が掲げる「令和の日本型学校教育」の実践として捉えられているからだ。

名古屋市東区のA小学校。十月二十日、市教委主催で行われた公開授業に市内外から約八十人の教育関係者が集まった。

十二学級で公開されたのは「AST（A小学校セレクトタイム）」と呼ぶ学習時間。児童らは週間計画に基づいて学びたい教科、使いたい教材、誰と学ぶかなどを選択する。教師は児童一人一人の進捗を把握し、サポートに徹する。イエナプランで「ブロックアワー」と呼ばれる時間を元にしたもので、週に五～十二こまほどある。

タブレット端末でのドリルに取り組む子もいれば、廊下で理科の実験をするグループも。子どもらは注がれる視線を意に介さず、各自の学習に集中した。分からないところがあれば自然と周囲の子に頼り、教える側の子も嫌な顔はしない。

互いを尊重し合う。一年から六年まで共通したその姿に、同小卒業生が入学するB中のC校長は「自己学習力は中学でも必要な力。探究的な学習と合わせ、本校でも前向きに取り組んでいきたい」。学び方の継続に意欲を見せた。

同小では昨年、五、六年の授業にイエナプランのコンセプトを取り入れ、本年度から全学年に広げた。D校長は「一部の特別な教員がいるからできるのではなく、公立の普通の学校でもすべての教室でできる」と力を込める。他校が取り入れやすい実践を意識し、「そのまままねるのではなく、名古屋の教育に合うよう、いいところ取りをしている」と説明した。

「中日新聞」2021年11月11日